

American DJ®

VIO MOON LED

取扱説明書

Ver. 1.00



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ VIO MOON LED をご購入頂き、誠にありがとうございます。

VIO MOON LED は 10W QUAD LED を搭載したムーンフラワーエフェクトです。スモークマシンと組み合わせてご使用頂くことで、空間をより華やかに彩ることが可能です。

本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前に取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

特徴

- 10W RGBW Quad LED
- マスター/スレーブモード
- サウンドアクティブモード(本体にマイクを内蔵)
- DMX-512 対応(1 または 3DMX チャンネル)
- 調光機能 0 - 100%(DMX 制御時)

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 電源、電圧が正しいことを確認してください。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
4. ディマーパックからの電源供給によるご使用はお止めください。
5. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
6. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクタ部を持って行ってください。
7. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。また、本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
8. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
9. 本体は壁から 15cm 以上離れた通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
10. 本体に液体がかからないよう、また雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
11. 長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。

メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

システムメニュー

Addr	1	DMX アドレス設定
	5 12	
ChNd	1Ch	1DMX チャンネルモード
	3Ch	3DMX チャンネルモード
SLNd	NRSt	マスターモード
	SL 1	スレーブモード(ノーマル)
	SL 2	スレーブモード(2 ライトショー)
ShNd	Sh 0	ランダムショー
	Sh 1 ↓	ショー 1 ~ 6
	Sh 6	
SoUn	on	サウンドアクティブモード ON
	off	サウンドアクティブモード OFF
bLNd	YES	ブラックアウトモード ON
	no	ブラックアウトモード OFF
LEd	on	ディスプレイ 常時点灯
	off	ディスプレイ 消灯
di SP	di SP	ディスプレイ表示 ノーマル
	dS IP	ディスプレイ表示 180 度回転
tPSt		セルフテスト
FhrS		灯体稼働時間
vEr		ソフトウェアバージョン

操作方法

メニューの設定は、MENU ボタンを押して UP/DOWN ボタンで機能の選択をし、ENTER ボタンを押してください。UP/DOWN ボタンで機能の調節を行い、ENTER ボタンで決定します。調整を行わずにメインメニューに戻る場合は、MENU ボタンを押してください。メニュー画面を解除するには、MENU ボタンを長押ししてください。

Addr

DMX アドレスの設定

1. ディスプレイに **Addr** と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. DMX アドレスを表す数字が点滅して表示されます。UP/DOWN ボタンを押して任意のアドレスを選択し、ENTER ボタンを押してください。

ChNd

DMX チャンネルモードの選択

1. ディスプレイに **ChNd** と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. **1Ch** または **3Ch** と表示されます。UP/DOWN ボタンを押して DMX チャンネルモードを選択し、ENTER ボタンを押してください。

SLNd

マスター/スレーブモードの設定

1. ディスプレイに **SLNd** と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. **MASt**、**SL 1** または **SL 2** が表示されます。UP/DOWN ボタンを押して任意の設定を選択し、ENTER ボタンを押してください。

ShNd

ショーモードの設定 (予めサウンドアクティブモードを OFF にしてください)

1. ディスプレイに **ShNd** と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. **Sh 0** ~ **Sh 6** のいずれかが表示されます。**Sh 0** はランダムショーです。UP/DOWN ボタンを押して任意のショーを選択し、ENTER ボタンを押してください。

SoUn

サウンドアクティブモードの設定

1. ディスプレイに **SoUn** と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. **oN** (サウンドアクティブモード有効) または **oFF** (サウンドアクティブモード無効) と表示されます。UP/DOWN ボタンを押していずれかを選択し、ENTER ボタンを押してください。

blnd ブラックアウトモードの設定

1. ディスプレイに**blnd**と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押しします。
2. **yes** (ブラックアウトモード有効)または**no** (ブラックアウトモード無効)と表示されます。UP/DOWN ボタンを押し、いずれかを選択し、ENTER ボタンを押ししてください。

led ディスプレイの常時点灯/消灯

1. ディスプレイに**led** と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押しします。
2. **on** (ディスプレイ常時点灯)または **off** (ディスプレイ消灯)と表示されます。UP/DOWN ボタンを押し、いずれかを選択し、ENTER ボタンを押しします。 **off** を選択すると、約 1 分間操作を行わなかった場合にディスプレイが消灯します。ディスプレイを再度点灯させるには MENU ボタンを押しします。

di sp ディスプレイ表示の回転

1. ディスプレイに**di sp**と表示されるまで MENU ボタンを押しします。
2. ENTER ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が 180 度反転します。メインメニューに戻るには MENU ボタンを押ししてください。

test セルフテスト

1. ディスプレイに**test**と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押しします。
2. 灯体がセルフテストを開始します。終了するには ENTER ボタンを押しします。

hrs 灯体の稼働時間

1. ディスプレイに**hrs**と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押しします。
2. ディスプレイに灯体の稼働時間が表示されます。終了するには ENTER ボタンを押しします。

ver ソフトウェアのバージョン

1. ディスプレイに**ver** と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押しします。
2. ディスプレイにソフトウェアのバージョンが表示されます。終了するには ENTER ボタンを押しします。

オペレーションモード

VIO MOON LED では以下のモードが選択できます。サウンドアクティブモードとショーモードの設定方法については、前述の「システムメニュー」および「操作方法」を参照してください。

サウンドアクティブモード : 内蔵マイクで感知した音に反応して本体のプログラムが動作します。

ショーモード : プリセットショーの中から任意のプログラムを選択します。

マスター/スレーブモード : 接続した複数の VIO MOON LED を同期させます。

UC3 コントロールモード : 別売のコントローラー UC3 で制御を行います。

DMX コントロールモード : 別売の DMX コントローラーで制御を行います。

マスター/スレーブモード

最大 16 台の VIO MOON LED を連結して同期させることができます。1 台の VIO MOON LED がマスターユニットとなり、他の VIO MOON LED はマスターユニットのプログラムに従って動作します。動作モードはサウンドアクティブモードとなります。マスター/スレーブは、どの VIO MOON LED にも割り当てることができます。他の機種を混合して接続しないでください。

1. 各機器の背面をデジタル 3 ピン XLR ケーブルで直列に連結してください。マスターユニットが始点となるようにし、マスターユニットの DMX 出力端子にデジタル 3 ピン XLR ケーブルのオスを接続します。
2. マスターとなるユニットをマスターモードに設定し、任意のショーを選択してください。設定方法は前述の「システムメニュー」および「操作方法」を参照してください。
3. スレーブとなるユニットを任意のスレーブモードに設定します。設定方法は前述の「システムメニュー」および「操作方法」を参照してください。スレーブユニットがマスターユニットに合わせて動作します。

電源ケーブルの連結

IEC ソケットを使用して、最大 12 台までの VIO MOON LED を連結できます。12 台を超える場合は、新たに電源を供給する必要があります。他の機種を混在させて接続しないでください。

UC3 コントロールモード

別売のコントローラーUC3で以下の内容を制御することができます。

STAND BY	ブラックアウト(暗転)		
FUNCTION	1. ストロボ 2. サウンドstroボ (全灯) 3. サウンドstroボ (カラー)	<u>カラー選択</u>	
		1. 赤 2. 緑 3. 青 4. 白 5. 赤+緑 6. 赤+青 7. 赤+白 8. 緑+青 9. 緑+白 10. 青+白 11. 赤+緑+青 12. 赤+緑+白 13. 赤+青+白 14. 緑+青+白 15. 全灯 16. サウンドアクティブ	<u>ショー選択</u> ショー 1-6
MODE	サウンドstroボ (LED オフ)	カラー (LED 点灯)	ショー (LED 点滅)

DMX コントロールモード

外部 DMX コントローラーで制御を行います。VIO MOON LED には 2 つの DMX モードがあり、1 チャンネルまたは 5 チャンネルのいずれかを選択できます。

- VIO MOON LED と DMX コントローラーを XLR デジタルケーブルで接続します。
- ディスプレイの表示が Chid となるまで MENU ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
- DMX チャンネルモードが表示されます。UP/DOWN ボタンを押して、 1Ch または 3Ch のいずれかを選択し、ENTER ボタンを押します。
- ディスプレイの表示が Addr となるまで MENU ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
- DMX アドレスを表す数値が表示されます。UP/DOWN ボタンを押して任意の DMX アドレスを選択し、ENTER ボタンを押します。
- DMX 表と DMX コントローラーの取扱説明書を参照しながら制御を行ってください。

DMX 表 (1 チャンネルモード)

チャンネル	DMX 値	機能
1	000 - 009	<u>ショー</u> ブラックアウト
	010 - 049	ショー 1
	050 - 089	ショー 2
	090 - 129	ショー 3
	130 - 169	ショー 4
	170 - 209	ショー 5
	210 - 249	ショー 6
	250 - 255	サウンドアクティブ

DMX 表 (3 チャンネルモード)

チャンネル	DMX 値	機能
1	000 - 007	<u>ディマー/ストロボ</u> 機能なし
	008 - 199	ディマー 0% - 100%
	200 - 247	ストロボ 遅 - 速
	248 - 255	オープン
2	000 - 007	<u>カラー</u> ブラックアウト
	008 - 024	赤
	025 - 041	緑
	042 - 057	青
	058 - 074	白
	075 - 091	赤 + 緑
	092 - 107	赤 + 青
	108 - 124	赤 + 白
	125 - 141	緑 + 青
	142 - 157	緑 + 白
	158 - 174	青 + 白
	175 - 191	赤 + 緑 + 青
	192 - 207	赤 + 緑 + 白
	208 - 224	赤 + 青 + 白
225 - 240	緑 + 青 + 白	
241 - 255	全灯	
3	000 - 009	<u>ゴボ回転</u> 停止
	010 - 120	回転 速 - 遅
	121 - 134	停止
	135 - 245	回転 遅 - 速
	246 - 255	停止

DMX-512 について

DMX-512

DMX-512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

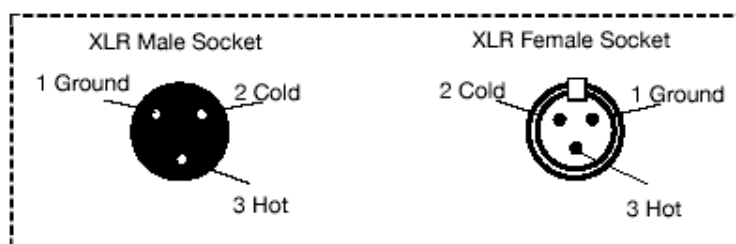
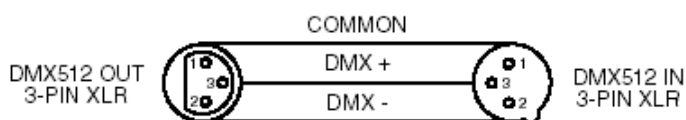
DMXリンク

DMXデータの正確な送受信を行うため、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使いください。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は関係しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

VIO MOON LED は 1 または 3 チャンネル分の DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体の裏面で設定してください。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。

DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。

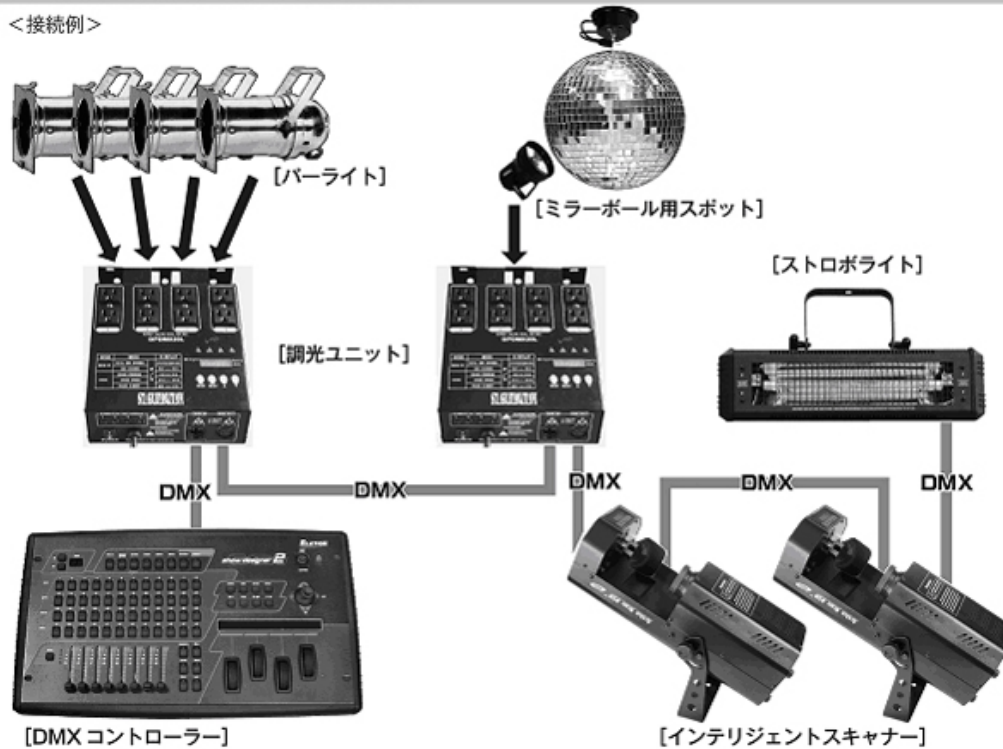


5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクタの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクタを VIO MOON LED に接続する際は変換アダプターをお使いください。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



・DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。

・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が長くない様に配線してください。

※



・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。

・インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※ー長距離の配線についてー

50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用してください。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照してください。

ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
 <p>抵抗</p>	<p>自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用ください。

■外側のレンズ <一週間に一度>

レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。

■通気孔 <一週間に一度>

通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。通気孔に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません

→通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去してください。

■信号ケーブル、電源ケーブル差込口 <一ヶ月に一度>

差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

■ネジ <三ヶ月に一度>

各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

ヒューズの交換

1. 本体から電源ケーブルを抜いてください。
2. 電源ケーブル差込口の下にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーなどで引き出し、取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">正しい電源・電圧に接続されているか電源ケーブルが損傷していないかヒューズが切れていないか
DMX で動作しない	<ul style="list-style-type: none">接続に問題がないか正常な DMX ケーブルを使用しているかDMX アドレスが正しく設定されているか
サウンドアクティブで動作しない	<ul style="list-style-type: none">外部音が小さい音や高音でないか
マスター/スレーブモードで動作しない	<ul style="list-style-type: none">接続された機器の内、1 台のみがマスター機に設定されているか

製品仕様

LED	10W RGBW Quad LED
ビーム角	30 度
DMX チャンネル数	1 または 3 チャンネル
DMX 入出力端子	3 ピン XLR
ヒューズ	6.3A 20mm
消費電力	23W
使用電圧	AC100V、50/60Hz
寸法	24.1(W) × 25.3(H) × 22.4(D) cm
重量	3.1kg

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。